

議会だより

しょうわ

2011.1.24

No. **148**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

特集 議会改革

2

12月議会で決まったこと

4

一般質問 ここが聞きたい

8

区長と議員の座談会 多事争論

12

議会視察分布図

16

追跡 あの質問はどうなった

18

築地新居区どんど焼き

昭和町を考える！

2010年7月

学生が昭和町を研究

それぞれのグループごとに昭和町役場や現場を訪れ、担当課長や係長への聞き取り、他の市町村との比較、学校へのアンケート調査など、提言したい内容と昭和町の現状を把握し、照らし合わせながらまとめました。



学生の提言（一部）

- ・ 町民本意の行政や行政の透明性の確保のための政策評価の導入
- ・ 多様な民意を反映していく議会主導の自治基本条例の制定
- ・ 議会も参加して総合計画を作成し、住民により構成される委員会などで討論して実効性のある計画づくりをしたらどうか
- ・ 学校、親、地域でいじめに対する共通の考えを持つような政策でいじめ撲滅を
- ・ 人事評価制度の導入
- ・ 今まで以上に高齢者と若者が参加するコミュニティづくりを
- ・ 協働のまちづくりをするにあたって、源氏ホテルによる住民参加（清掃、放流、お祭りの実施）を促してはどうか
- ・ 大気汚染物質の測定、監視、公表の実施を町独自で
- ・ 県の中心である昭和町のシンボルとなるようなタワーを
- ・ 交通機関の充実のために、コミュニティバスとシャトルバス導入を
- ・ JRと連携して、駅構内でのガイドマップや広報紙の配布、案内図を作成し目的地への移動手段の参考にしてもらい昭和町をPRしたらどうか



これらの意見を、これからの議員活動に生かしていきたいと思っております

議会改革 特集

学生と議員で

平成22年11月24日、山梨学院大学法学部政治行政学科の学生と議員によるワークショップ・政策提案報告会を130人以上の学生参加のもと開催しました。午前中に、総務・産業土木・教育厚生との3常任委員会に分かれ、ゼミグループでワークショップを行いました。学生の視点に立った斬新な提案や改善策に、議員も驚かされ、自分たちのまち「昭和町」を新たに見直すことになりました。午後はワークショップを踏まえて各ゼミの代表者が議員に政策提言を行いました。議員も、提案に対して感想・意見を述べると共に、議会での今後の取扱いについて答弁しました。



11月24日午前

ワークショップ開催



11月24日午後

政策提案報告会

模擬法廷にて、学生が午前のワークショップの意見交換を踏まえつつ政策提案を行い、それに対し、それぞれ議員が感想・意見などを答弁しました。学生が緊張した面持ちながらも、パネルを使って言いたいことを表現したり、再質問を議員に求めたりして意見をぶつける姿は、将来のまちづくりに期待を感じさせる光景でした。また、議員が町長や課長の立場で答弁することで、対話する姿勢やパフォーマンスなどの客観的に考える機会になりました。

ワークショップとは？

講師の意見を一方的に聞いたり、教材を読むだけでなく、参加者が専門家の助言を得ながら積極的に関わり、問題解決のために行う研究集会



財政調整基金に 2億8千万円

12月
議会で
決まったこと

一般会計補正予算（第3号）

全員賛成で可決

補正額 2億8,301万円
予算総額 72億6,959万円

【主な補正財源】

- ・町民税（法人分） 2億5,000万円
- ・県支出金 2,356万円
- ・財産収入 336万円
- ・雑入 1,150万円

【主な使いみち】

- ・徴税費 252万円
（コンビニ収納対応委託料）
- ・障害者福祉費 362万円
- ・総合会館運営費 283万円
- ・医療福祉費 936万円
（老人医療費・子育て支援医療費）
- ・保育所費 1,836万円
- ・太陽光発電補助金 216万円
- ・土地区画整理事業費 1,000万円
（道路工事）
- ・温水プール管理費 200万円
- ・基金へ積立て 2億8,263万円
（財政調整基金）
- ・職員等の給料、手当
カット 1,946万円

特別会計補正予算

全員賛成で可決

国民健康保険会計

205万円を補正増額
総額14億5,791万円

介護サービス会計予算

6万円を減額補正

下水道事業会計予算

265万円を減額補正

平成22年12月定例会は、12月7日から10日までの会期で開きました。町長から平成22年度一般会計および特別会計補正予算4件のほか、条例改正1件、専決処分承認3件その他2件の合計10件が提出されました。
一般質問には、4人の議員が町政の課題について幅広く質問を展開し、町の考えを問いただしました。

財政調整基金とは

年度間の財源の不均衡を
ならすための積立金で、地
方財政法で設置が義務づけ
られており、財政調整積立
金ともいいます。
財源不足時の穴埋め
災害や、緊急公共事業な
どやむを得ない場合
財産取得
地方債の繰上げ償還など
に限られます。

- ・町職員の給与、期末勤勉手当を減額する条例改正
一般職0・2カ月カット
給料表の減額改正
全員賛成で可決
- ・常勤特別職の期末手当を減額する条例改正
町長・教育長 0・2カ月カット
全員賛成で可決

冬の職員ボーナス
を減額

財産の貸付

・旧杉浦邸の建物を町が文化的資産として保存するために取得したが、旧所有者が引き続き居住できるように、無償貸与とするための使用貸借契約を締結するもの。
 全員賛成で可決

条例の改正

・昭和町職員給与条例等 職員の勤務時間を国家公務員と同様に短縮することに伴い、給与条例等3つの条例を改正するもの。
 全員賛成で可決

規約の変更

・甲府地区広域行政事務組合規約 国の施策の見直しにより、ふるさと市町村圏基金を活用した事業を実施するためのもの。
 全員賛成で可決



小学生も杉浦醫院を見学

教育予算拡充、教育の機会均等、水準の維持向上を図るための請願書

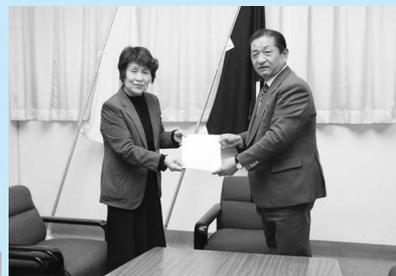
教育に関する請願を採択
 国へ意見書を提出

- ・請願者
 - 昭和町PTA連合会 会長 清水 悟
 - 昭和町公立小中学校校長会 会長 永井 清司
 - 昭和町公立小中学校教頭会 会長 矢崎 茂男
 - 山教組中巨摩支部 執行委員長 金井 哲也
 - 紹介議員 樋口 敏夫
- 【意見書の主旨】
 議会では、この請願を審査した結果、議長名で意見書を提出することを全員賛成で議決しました。
- 【意見書提出先】
 文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

平成23年度予算要望

平成22年12月16日

要望書を渡す委員長



教育厚生常任委員会

要望に対する財源についても、委員会の中で勉強会を重ね、提案しました。

- 要望 平成23年度の予算編成にあたって、教育厚生常任委員会として町長に対して6つの要望を行いました。
- 新年度予算が査定される前に常任委員会として提言することにより当局側の考えのなかで反映・実行されることを望みます。
- 要望 85歳以上の医療費無料化
- 要望 中学3年生までの医療費の無料化
- 要望 小学校の校庭芝生化
- 要望 昭和町地域包括支援センターの職員配置を3人体制
- 要望 高齢者（老人）福祉拠点の整備

水道管敷設の 要望方法は？

福島議員 各区からの要望で水道管の敷設を進めていくことも大事だが、開発地域など需要があり、敷設の必要が効果的な場所には、優先的に水道局に要望をするべきではないか。

環境経済課長 町で把握しきれない具体的な各区の状況を聞き調査しているが、今後開発などインフラ整備が必要な場所は、区の要望とは別に確認したい。



区画整理の水道管工事

ごみ袋の研究を！

浅川議長 甲府市のごみ袋の形状は、研究していると感じました。昭和町でも、使いやすいように改良を心がけて欲しい。環境経済課長 コスト面も考慮しながら研究を続けたい。

(P9参照)

ハザード マップは？

志村議員 洪水ハザードマップの今年度の発行はないのか。建設課長 当初は増刷する予定だったが、23年春イオンモールの開店にあたり、洪水時の避難所の協定・災害協定を結び、新たなハザードマップを考えているので、23年度に作成したい。

農業の支援を！

遠藤議員 農業振興地域保全助成金は、方針や補助金の出し方を見直すほうが良いのでは。実質的に耕作している人に補助金を出すほうが、もつと成果が出たと思う。

山田議員 申請が6月で12月に精算のようだが、もつと早くできないのか。

環境経済課長 実際に意見や要望を聞いているが、制度については良好で続けてほしいという意見が多かった。昭和町に住んでいる人が、他市町村で耕作している場合や、その逆もあり、制度を拡大するには検討課題でもある。

補助金の上乗せも含め、初年度この制度は検証が必要だ。6月で締め切り、7・8月で現地調査をし、年内には精算の予定だが、なるべく早く対応できるようにしたい。

資源ごみの 還付金の活用は？

浅川議長 それぞれの地区で粗大ごみが乱雑になったり、監視員もつけて状況をみていく。各地区での資源ごみの還付金を、環境整備の費用として活用できないか。

環境経済課長 パトロール職員を西条一区・西条二区・河西区については常時配置、それ以外の地域は職員が巡回している。還付金は区内でどのように使われるのか調査し、環境整備に使用することも考えたい。



ごみの出し方に注意

保育所負担金 増額の要因は？

河住議員 保育所の負担金がかなりの増額補正だが、人数が増えて保育所は対応できたのか。

樋口議員 一時預かり事業の予算増額の内容は。

福祉課長 未満児の数は平成22年1月では86人、11月は120人。年齢の階層でも単価が違うが、人数の上昇で予算が増えた。保育所は対応できているが、こんなに人数が増えるとは思わなかった。

一時預かりは当初1園当たり27万円の補助金だった。組み替えにより1園当たり45万円になった。



押原保育園の運動会

コンビニ収納の 準備は？

山田議員 税金の徴収率をあげるため期待しているが、コンビニとの話し合いは済んでいるのか。どんなコンビニが取り扱い、1件どのくらいの委託料か。

税務課長 指定金融機関・協議会・コンビニの本部には話をし、4月から軽自動車のみの準備をしている。委託は月あたり1税項目1万円と、1件あたりの手数料が63円かかる。すべてのコンビニが加盟しているのどこでも取り扱える。



コンビニで税金を

若手職員 による

プレゼンテーション

今議会の地方分権対策特別委員会で、若手職員13人の提案がありました。これは、昭和町人材育成「ひとづくり・まちづくり研修」の一環として行われたものです。

庁舎内に受付係を設置しよう

町民が役場に来たとき迷わず目的とする担当係に行かれるように案内の工夫。

小学校ブライダル

押原小学校を結婚式会場として開放しよう。

住民参加型ホームページ

町民や職員など様々な視点からの情報をホームページに載せて活気ある町を。

公用自転車導入プロジェクト

近距離を自転車移動することで環境への配慮や経費の削減を図る。

人材育成を兼ねた人事管理

幅広い知識と専門的な知識をもつ職員を育成し、強い組織づくりを。

昭和町版事業仕分け

昭和町独自のやり方で、行政改革としての事業仕分けを。

それぞれの提案に議員が意見や質問をし、将来昭和町を支えていく職員の頼もしさを感じました。

提案結果は、課長たちの意見を聞きながら、最終的に町長が判断し、詳細な検討が必要な提案は、若手職員の活動をバックアップすることです。

町長が判断し、詳細な検討が必要な提案は、若手職員の活動をバックアップすることです。



議員を前に提案説明

施策を問う

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 運転免許返納高齢ドライバーの支援策を

ドライバ―の支援策を

保坂

平成21年に高齢者が絡んだ人身事故は、10年前より54%も増加している。県警は「高齢者の事故防止に効果的な免許証自主返納は、自治体の支援が必要」としている。高齢者の事故防止に効果的な免許証の返納を、町ではどのような支援策で進めていくのか。

A 高齢者福祉の

あり方を考える

町長

昭和町は他市町村に比べ、施設・商店・医療機関等がバランスよく配置され、徒歩でも生活しやすい。これからもコンパクトシティを目指したまちづくりを推進し、免許証自主返納者にも暮らしやすい環境を整備していきたい。新たに始まる甲府駅からイオンモールへのバス運行も期待できるが、今後は高齢者福祉のあり方全般や、福祉バスの見直しなどを考えていきたい。免許証を自主返納した方で、身分証を必要とする方は、住基カードの交付を無料で行っている。



ほ さ か て る こ
保坂 明子 議員

再質問

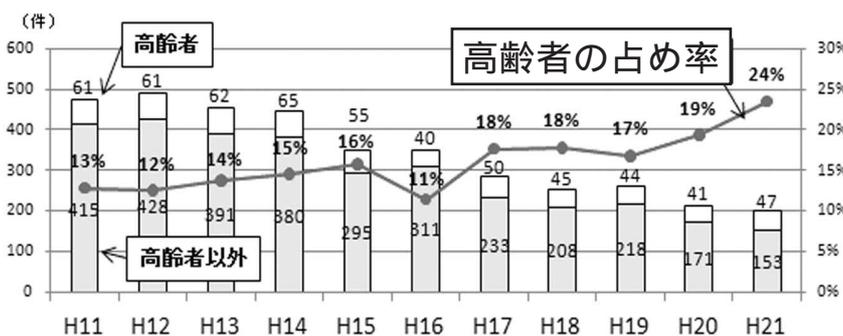
保坂

昭和町社会福祉協議会で、運転ボランティア制度を登録制でやっているが、これを活用した仕組みを考えられないか。

町長

コンパクトシティを目指す町として、この制度を町民に周知・広報活動もする中で、高齢者の皆さんが生活しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。

高齢運転者(第1当事者)の死亡事故の推移



※ 第1当事者原付以上、発生件数で抽出
高齢者とは75歳以上

Q 自転車環境に優しい町づくりを

河田

自転車は、健康にも自然環境にも良い乗り物として、子どもから大人まで便利に利用できる交通手段である。その一方で自転車事故は全国的にも増加している。

本町は盆地の中央に位置し、ほぼ平らな地形なので、町内の移動に自転車の活用を推進することで、交通渋滞や排気ガス対策としても地球環境に優しい町をアピールできる。

そこで、交通環境整備を整えながら、自転車を活用した環境に優しい町づくりを推進することについて、どう考えるか。

A 環境整備を

検討していく

町長

自転車講習会等を通じて交通指導を行い、交通安全への意識高揚を図っている。県のモデル地区の効果を検証し、既存の道路空間の有効活用を行い、財政面で厳しい状況。自転車・歩行者・自動車等との共存の環境整備を検討していきたい。



小学校での自転車教室



かわだ 河田あけみ 議員

Q ゴミ収集事業は

再質問

河田 自転車利用を促進するために、自転車安心・安全条例の取り組みなどが考えられるが。

町長 若手職員中心に「公用自転車の活用」を研究テーマに行っており、それらも聞きながら昭和町になじむか等検討していきたい。

河田

昭和町のごみ袋は40ℓ・25ℓの2種類だが近隣ではさらに10ℓのミニサイズが利用されている。このサイズは単身世帯には最適と思うが本町でも検討する考えは。

また、蛍光管リサイクルの意識が高まっていると思う。地区回収場所を増やす考えはないか。

A 蛍光管回収ボックスを増やす

町長

ごみ袋は大小2種類の販売を継続し、10ℓサイズは単身世帯の推移や、町民の要望をみながら検討していきたい。

蛍光管は分別回収することで、非常に有効な資源となる。順次設置場所を増やすよう、役場を含め数力所に設置する予定となっている。

Q「小さくても豊かなまちづくり」二期目は

河住 高齢者が一番求めるものは、健康と暮らしの問題だ。子どもの医療費無料化（中学3年まで）や、老人医療費助成を実施する市町村も増えてきたが、「豊かなまちづくり」に高齢者福祉政策は欠かせない。町政2期目に向けてのかじ取りをする町長の考えは。

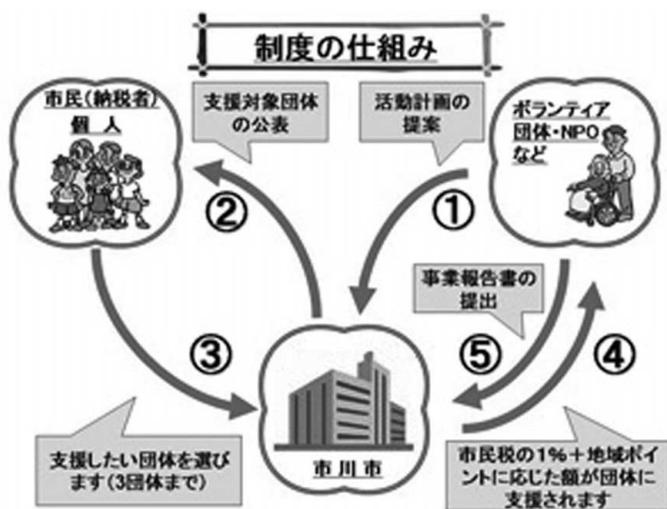
A 事業適否・新制度の確立を目指す

町長 町長就任以来、約束した公約も着実に取り組むことができた。高齢者の大小さまざまな福祉サービスを、関係者と協議しながら見直しを進め、事業の適否や新しい制度の確立を判断していきたい。

再質問

河住 町長は福祉政策を最優先すると思うが、重要課題は何か。

町長 高齢者福祉は重要な課題だが、行政サービスの充実には、財政健全化にしっかりと取り組むのが、一番と考えている。



千葉県市川市で行われている仕組み



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

Q パーセント支援制度は

河住 パーセント支援制度は、町民の納税意識とボランティア団体・NPO法人等の活動支援を目的とし、自分が納める税金の1%分の使い道を、自分の意思で決め、生かせる制度だ。協働のまちづくりの手法の一つと考えるが、町長の所信は。

A 地域力活性化交付金の成果を検討

町長 ボランティア・NPOなどは、協働のまちづくりに重要だが、行政の立場からは公平性を保てず、慎重にならざるを得ない。地域や住民活動の新たな支援策は、地域力活性化交付金の成果を検討し、協働のまちづくりを推進していきたい。

二期目にどのような政策を示されるか



しおざわ 塩澤 ひろし 議員

塩澤

町長は就任以来、公約実現のため、さまざまな事業を実施してきた。その内容を10月政策事業報告書として町民に配付した。財政の健全化、町民主体ひとつづくりの点において精査し大型事業を見直し、その他ひとつづくりに対する事業も多く実施した。多くの町民が評価している。二期目を目指すにあたり、力強い政策を望むが決意を聞きたい。

A コンパクトシティ 実現に努力する

町長

「小さくても豊かなまちづくり」を目指す施策としては、行政区制度改革など諸施策の達成状況を検証した上で、新規事業や継続事業を計画し、引き続き第5次総合計画と整合性を図りながら進めていく。

本町財政は不交付団体となって以来、最も厳しい状況となっている。限られた財源の中で、最適なサービスを提供できるように、職員が自らの事業を検証し、議会とともに町民福祉事業のあり方を検証していききたい。またその上で、真に必要とされる新しいサービスにも取り組み、「昭和町に住んでよかった」と言っていたいただけるような町政運営を、強く決意している。これからも職員の人材育成、地域の活性化、財政健全化を進め、発展と町の機能を生かし、「小さくてもきらりと輝くコンパクトシティ」実現に向け、全身全霊を傾けていきたい。



児童と一緒に給食を食べる町長（常永小）

第4回 区長と議員の座談会

多事争論

平成22年11月12日開催

開かれた議会を目指し、住民の皆様のご意見を議会活動に反映させるため、住民の先頭にたって活躍されている区長さんと意見交換会を開催しました。(要旨のみ掲載)

(敬称略)

参加者

西条一区	田中憲治
西条二区	篠原政憲(副会長)
清水新居	保坂一衛
西条新田	福島正明
押越	望月隆
河東中島	雨宮昌男(会長)
紙漉阿原	武井啓吉
築地新居	中澤孝造
飯喰	磯部洋
河西	秋山正巳(副会長) (区長代理)
上河東	二宮一英
上河東二区	石川重明

以上12区長 ほか町議会議員



意見交換する区長と議員

農産物直売所の建設は

上河東区長 平成23年3月にイオンモールがオープンするが、農産物直売所を常永に建設すると聞く。今後どう進めていくのか。方向性はどうでしょう。

田中議員 平成22年2月24日から委員会が6回開かれ、議会から各常任委員会の3人と、農業委員・JA代表・生産者代表など各種団体の代表者で構成しています。

調査結果は、常永支所の跡地が一番有力との結論が出て委員会でも検討し、JA生産者全体会を開き、常永支所の跡地でよいつの結論に達しました。

上河東区長 建設に反対はしないが、農産物の出荷予定は昭和町だけで154人ですが、中央市や甲斐市の生産者が出荷しないのか。建設補助金を昭和町だけで持つのはどうか

田中議員 154人の生産者では年間を通して、農産物の出荷には足りないと思う。もっと違った農産物をつくれる営農指導や、町内の生産者・出荷者を増やして地産地消を進めるよう要望している。

山田議員 補助金の負担は今後検討が必要だと思います。

河東中島区長 他地区の農産物直売所は、加工品は他地区から持ってきていますが、昭和町の農産物だけでいけますか。

樋口議員 他市町村も出品しますが、「昭和町の農業振興を重点的にしていきます」との返事をJAからいただきます。

西条一区長 建設の規模・構造・予算とすばらしい計画を考えているようだが、まずテストでやって、実績をみて検討してはどうか。

浅川議員 3人の議員が建設委員会に出ているので、委員会の結果を全員協議会の中で報告してもらい、委員会での議員の意見が反映されるような形で進めています。

イオンモールの出店

上河東区長 イオンモールの建設工事も23年春のオープンに向けて進んでおり、姿が徐々に見えてきました。一つの街として形成するためには、防犯対策、青少年の非行防止対策は必須の条件です。イオンモールでは、青少年の「たむ



議員による直売所の現地調査

る」や、深夜徘徊に対する警備員による声かけ、定期巡回、防犯カメラを使って防災センタ―集中監視を実施する等を提案していますが、イオンモール内に常駐派出所を設けられるように、県警に提案をお願いします。

塚原議員 その件は、塩澤議員が一般質問を行い、議会日より146にも出ていますが、当局から常永地区一帯の治安を検証し、関係機関と協議していくことになっていま

上河東区長 区画整理地内の主要道路の完成に伴い、街路樹・歩道灯の設置工事も進ん

でいますが、将来に向けて街路樹の管理等は、地域のボランティアでは対応しきれないと思います。町がシルバー人材センター等に管理委託するなど、予算検討を提案したいと思います。

山田議員 コスモス街道は県道ですが、花の町づくりというところで、町でも補助を出しています。街路樹については、植樹帯・緑地帯などシルバー人材センター等に管理委託しています。県道については、

県に管理してもらいますが、町道については、区画整理の中でも、業者やシルバー人材センター等に管理委託をお願いすると思います。

萩原議員 コスモス街道は、国体のときから老人クラブが管理し、県から表彰なども受け、毎年、植えているので、河西・飯喰については役員が苦勞しています。今後はボランティア・町・地元と一緒に考えていかなければならないと思っています。

井戸端会議の評価と課題

西条一区長 個人の意見を前向きに、組織として対応していただき、より良い地域づく



井戸端会議から実現した校庭の芝生化

りをしようとしています。すばらしい会議になっていてと思います。存続すべきです。

西条二区長 議会側からテーマをいただければ、もっと意見が出るのではないかと思います。

浅川議長 井戸端会議は、身近に顔を合わせたり、自分たちの悩みをざっくばらんに言っていたら、議員は地域だけでなく、町全体のことを考えて活動してほしいとの思いではじめました。井戸端会議に出席した方たちには伝わったのではないかと思います。

押越区長 今年も、放送なくとも役員以外にも多くの区民が参加してくれました。ざっくばらんに話ができて、議会の仕事を身近に感じ、良いこ

とだと思えます。ぜひ、続けていきたいと思います。

紙漕阿原区長 人が集まらないのが一番の問題です。新しい区民は、区に対しての認識不足か、生活の忙しさか、要望など少なくなっています。

飯喰区長 区で、もうちょっと事前に相談したり、まとめおいたほうが良かったかと思いましたが、議員の回答も明快なので、できれば、来年も続けてもらいたい。

浅川議長 各区長さんからいろいろご意見をいただきまして、皆さんが構えることがないように、要望でも意見でも何でもいいんです。議員は、町全体の中を見渡す中で、行政の公正・公平と言う視点で見えていかなければと思います。

清水新居の児童・生徒の通う学校

清水新居区長 清水新居の子どもは、今では西条小学校があるのですが、そちらに全員が就学するようにしてもらいたい。初等教育は、その属する町村で持つのが当然で、教育委員会や教育長にもお願いすべきと感じています。議員にもぜひ、後押しをしていただきたいと思います。

浅川議長 一般質問でも、清水新居の井戸端会議でも質問ができました。

議会日より147にも出ていますが、萩原議員が学区分けの考えを当局に質問したところ、児童・生徒の推移を把握し、適切な対応をいつ取り入れたらよいか、教育委員会で学校関係者や有識者の意見を聞き、情報収集や協議を行い、遅れることのないように対策をとっていききたいとの回答でした。

築地新居区長 参考ですが、西条小学校が開校したのが昭和59年。建設場所を検討したとき、清水新居の保護者の意見も聞きましたが、現在の場所に西条小学校を建設しました。

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



次回の開催予定

- 1月28日(金) 西条新田区
- 2月17日(木) 築地新居区
- 2月18日(金) 上河東二区

開かれた議会を目指し、2年目を迎えた井戸端会議。地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが、町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は、結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒にって課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

紙漕阿原区(第7回)

10月28日 紙漕阿原区公会堂

出席者 紙漕阿原区民 16人
参加議員 6人
教育厚生常任委員会
保坂明子委員長

おもな意見・要望と議会の対応

Q テレビで保育園と幼稚園の問題が取り上げられるが、町の待機児童の問題はどうか。

A 保育園はほぼ定員通りで待機児童は問題ない。働きたいお母さん方が多くなってきたので、問題を予測するのは難しい。

Q 沼公園を通学する子どもの帰宅時に、公園のトイレが子どもだけだと危ないという意見がある。もつと公園を整備し、ゲートポールなどして誰かがいれば自然と抑止力が働くと思うが。

A 沼公園はまだ完全に整備されていないが、完成後は車の往来や人目もあると思う。他の地区では地元のボランティア等が見守りを行っている。参考にしてもらいたい。学校と区の協力が必要と思う。(現地調査を行う)

Q いきがいクラブの会員が少ない



沼公園が安全な場所になるように!

かなり困っている。先に立ってやってくれる人がいない。65歳になったら強制的に入る区はあるか。

A 河西区では、65歳になったら全員入る。だが、入会には抵抗がある人も多い。会員の中でも若い人たちが2・3人で引つ張っていると思う。まとめるのは大変だが、地区により違うので、それぞれの特色を生かしたものにしてほしい。

西条二区(第8回)

11月1日 西条二区公会堂

出席者 西条二区民 60人
 参加議員 6人
 総務常任委員会
 福島正明委員長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 町でも南アルプス市のように、消防団員にガソリンや飲食代の割引など特典があると、団員確保につながるのではないかと。

A 議会でも消防団に対する意見が出ています。活動が多いとか、報酬を上げたらとの話が出た。団員のために残業など多い企業に、考えてくれないかという意見もある。団員確保のため、区長・常設役員は苦労されているが、消防委員会・担当課の企画財政課にも切実な事情を伝え働きかける。

Q 県道市川三郷線が、葬儀のたびに渋滞し、地元でも要望しているが改善されない。何か対応策がないか。

A 葬儀場の誘導する人に工夫するよう検討してもらつ余地はある。要請していきたい。

Q 議会基本条例は、議員は原則として区長等の地区の代表または補助金交付団体の代表にならないとあるが、どの範囲までか。

A 区長等とは、区長、区長代理を指し、各区の執行責任者のこと。補助金交付団体の代表とは、会長、副会長などの執行責任者のこと。



上河東区(第9回)

11月13日 上河東区公会堂

出席者 上河東区民 17人
 参加議員 5人
 産業土木常任委員会
 野中敏美委員長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 河川清掃のことだが、身延線の下あたりは県でコンクリート舗装してくれたが、どこまでやってくれるのか。底に砂がたまっている。

A 担当課長と該当箇所を歩き状況を見たが、予算の範囲内で要望できる。工事自体は県が行い、その後の管理を町に移管している。紙漕阿原では土砂が溜まったので、予算内で対応したが、流れもよくなり、災害時も安心になった。砂の処理にお金がかかるので、砂を置く場所を確保すれば早くできることもある。場所の話を進めていきたい。

Q 前回の井戸端会議で、駅前開発の話が出たが、その後の進捗状況は。

A 区画整理の中で駅前開発をするが、要望書を上河東・上河東二



駅前開発を!

区の各区長と各区の議員で町長に提出した。用地だけでも町で早く確保して欲しい。

Q ゴミの収集小屋だが、ゴミも多く、入りきらないときもある。どうにかできないか。

A 収集小屋を新設する場合、区負担は半分が済むので、見積もりをとったかどうか。置く場所の確保も必要だ。区で話し合っ欲しい。

議会視察分布図

昭和町議会に多くの市町村
が視察に見えました。お互い
に意見交換する中で、刺激し
あい、よりよい議会・よりよ
い町にしていこうという気持
ちを再確認しました。

全国から 昭和町へ

福岡県立花町	議会改革
長野県原村	議会改革
長野県小海町	議会改革
千葉県一宮町	議会改革
徳島県町村議長会	議会改革
山梨県増穂町	議会改革
長野県駒ヶ根市	議会広報
長野県松川町	議会改革
静岡県清水町	議会広報
香川県宇多津町	地区計画等
山形県大石田町	議会改革
三重県伊賀市	議会広報
茨城県城里町	議会広報
千葉県夷隅郡議長会	議会広報
群馬県中之条町	議会改革
埼玉県ときがわ町	議会広報
岩手県雫石町	議会広報
千葉県芝山町	議会広報
栃木県壬生町	議会改革
佐賀県佐賀市	議会広報
群馬県下仁田町	議会改革
沖縄県南風原町	議会広報

視察に来た市町村 [○]



研修報告

議員研修

大分県九重町
熊本県御船町

先進議会の姿勢を学ぶ

平成22年10月20日～22日 大分県九重町
自治基本条例の取り組みを研修しました。豊かな自然と日本一の長さ・高さ誇る吊り橋は、四季を通じて観光客が訪れ、町の活性化

化や雇用対策・自営業者等の増加にもつながり、長期計画を年次ごとに検証する中で自立のまちづくりを進めています。この条例で住民参画のルールが確立し、行政運営の根拠が明確にな



九重町での研修

り、地域自治の仕組みがわかりやすくなることを学びました。

熊本県御船町

議会基本条例・通年議会を研修しました。通年議会により会期が1年となることから、必要なときにいつでも議会活動が行える状態にすることを規定しています。議会・執行部・住民の正三角であるという認識のもと議会を運営し、議会版マニフェストを実践し、一般質問の通知を町内のスパー・銀行へ掲示し、各委員会と関係組織との意見交換会等を行っています。

昭和町議会でも、自由闊

達な討議・地域住民との井戸端会議・各委員会を毎月開催等、積極的な活動を展開しており、通年議会に匹敵する議会である自信を持って、研修内容を参考にしていきたいと思えます。

(研修委員長 田中博愛・記)

産業土木

常任委員会

環境問題への挑戦

平成22年11月4日～5日
長野県(株)CPR飯山工場
(株)CPRは一般家庭ゴミから廃プラスチックのリサイクルをしています。同様の工場の中では全国10番目の大きさで1日55トン、年間16、700トンとのこと

最新鋭の機械と資源ゴミの工場にありがちな、独特のにおいもなく、非常に衛生的で感動しました。これからのごみ行政の進んでいくべき方向を勉強させられました。

群馬県八ッ場ダム

広報館「やんば館」で、地元住民の長い年月の心の揺れ、苦渋の決断の歴史を勉強しました。住民の大きな心で決意し、前を向いて歩んでいた矢先の中止宣言を、どんな思いで受け止めたのか、国の施策に振り回

長野県(株)CPR飯山工場
群馬県八ッ場ダム



ゴミ分別の様子を視察

されている住民の今の気持ちを察すると、胸の詰まる思いがしました。

ところが、研修翌日には中止宣言撤回のニュースがあり、驚きと一貫性のなさに、今後の不安を感じました。地元住民にとって何が一番必要か、何を望んでいるのかをしっかりと把握し、その思いを受け止めてもらいたいと感じる研修でした。

(委員長 野中敏美・記)

追跡



あの 一般質問は どうなった？

議会からの要望や議員の質問に、当局がその後どのように対応し、
どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡

② 住宅用火災警報器 設置について

(平成20年12月議会 質問者:野中敏美議員)



住宅用火災警報器

問 平成16年6月から全国一律に「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられている。町民に火災警報器の効果・有意義性を周知し、各家庭で複数個設置を目指すために、より安価に購入するべく、町で一括購入し促進を図ったらどうか。

答 町でも普及活動を広報等で進めているが、火災警報器のアンケート調査での実態把握で、普及活動や負担軽減など町としての取り組みも検討していきたい。一括購入については、自己責任分野の設置のため、慎重に取り扱いたい。

その後

普及活動は進めている。また平成22年度昭和町単独で「昭和町高齢者要援護者住宅用火災警報器設置促進事業」を行っている。これは高齢者と要援護者を対象とし、火災警報器の購入および設置費を事前申請により全額補助するもので、平成23年3月末まで申請期間を設けている。高齢者要援護者の生命および財産の安全確保をすると共に、設置の促進を図ることを目的としている。

追跡

① 各区公会堂の パソコンの見直しを

(平成21年6月議会 質問者:萩原馨議員)

問 平成13年から情報基盤整備事業の一環として、全地区にパソコンが整備された画期的な事業であった。しかし現在、パソコンの利用頻度・活用方法・費用対効果が疑問視されている地区も多々ある。今後の活用方法についてどう考えるか。

答 昭和町地域情報化推進委員会として、パソコンの活用・見直し意見も聞いているが、現在は災害時非常用としての活用と、区の総会の資料づくりや情報収集に利用してもらっている。

今後の情報化の進展に伴い、いろいろな意見を聞き利用目的を精査したり、行政区制度も見据えた有効利用方を検討する。

その後

区長会と活用方法を継続協議している。総会の資料づくりや引き継ぎ等に利用している区もあり、活用している区の活用方法を参考に利用するように呼びかけている。

光ケーブルは国庫補助事業のため撤去することは考えていないが、パソコンは区長会との協議により、継続して利用策を検討。また、区担当職員制度の導入に伴い、各区の実情を見て検討する。



公会堂のパソコン

議会クイズ

議会クイズを始めました！ぜひご応募ください。

正解者の中から抽選で5人の方に
図書カードをお送りいたします。

空欄に適切な言葉を入れてください。

ヒント 議会だよりを読んでください

- 1 山梨学院大学生との 報告会で議員
が答弁
- 2 補正予算で、基金に 億8千万円積立
- 3 区長との意見交換会で、 直売所の建
設について討論
- 4 大分県九重町の研修で、 条例につ
いて学ぶ

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2

昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

《しめきり》

2月末日 消印有効



前回の
お葉書で

こんなご意見を いただきました！

クイズ形式で、議会だよりを読んで
もらうと、試みはとても良いこと
だと思います。続けて継続して
下さい。

クイズをきっかけに議会だよりを読みました。
これから暮らしやすい町づくりのために
議会運営よろしくおねがいします。

議会だより「しょうわ」は、とても読みやす
判りやすいです。

特に今回(N.147)の表紙の写真に
感動しました。園児の表情もさることな
がら、後ろの人々の優しい笑顔がすば
らしく、何度見ても泣けてきます。いい
町だな～としみじみ思います。

議会だより、これからも頑張ってください。
よろしくお願いいたします。

私としては、第2のふるさと日昭和田
西条二区にすんでおります。1)小学木交
4年生の時日昭町人、2)こうしてまいりました。
日昭町立甲斐小学木交人、そして
甲斐中学木交人、もう半世紀今年で30年がすぎた。

ほしは ~~おねがい~~ かけたいおねがい
クイズ
1)クイズをしたら、実字が
むすかしかたです。
図書カードをもらって、むすか
になるしたいです。

住みよい昭和町、安心・安全
な街づくりによりおねがい

前回クイズの答え

80 基本 土
西条一 昭和

皆さまからいただいた議会クイズのお八ガキの中から、
ピックアップして掲載しました。ありがとうございました。



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

上河東二区の生い立ち



上河東二区・初代区長
池上 昭雄さん

昭和町・山梨県の計画により、「常永団地」は上河東区に属していましたが、昭和55年3月の昭和町議会で、55年7月1日付で常永団地が、上河東区から独立することを決定しました。

上河東区は戸数328戸と、町内では西条二区に続き2番目のマンモス地区になり、区が大きすぎるため、いろいろな面で支障を来たしており、従来の上河東と常永団地を上河東二区とすることになりました。

昭和55年4月以降、毎週日曜日に組長さんが集合し相談した結果、組単位の結束を図ることが提案され、毎月第3日曜日に区内の草取りをして、組の連帯を図っていくことにしました。

区の結束については、8月の第3日曜日に夏祭り、10月に運動会をし、区民の親睦を図っていくことが決まり、6月に総会を開催して区民の皆さまの承認をいただき、区名を上河東二区と決定しました。

昨年は区発足30周年記念行事も行われました。町営住宅の建て替えの完了、集会所の新築も行われましたが、これからも上河東二区の発展を願っています。

古きを大切に守る町



西条新田区
宮澤 緑さん

私は昭和町に住んで6年になります。

この町には、昔ながらの顔と新しい顔を感じます。我が家の近くの水田では、春には田植え、秋には稲刈りの風景が見られ、自分の小さいころを思い出し懐かしくなるとともに、子どもたちに昔の話をするきっかけとなったりしています。

最近、近所の旧杉浦医院が公開されることになりました。地方病撲滅に至る功績を知ることができるばかりでなく、昔の医療器具や診療室がそのまま残されているそうで、町の歴史を垣間見ることができそうです。

その一方で、大きな商業施設があり、多くの人が集まり賑わいを見せています。また、新しい家が建ち並び、若い家族も多く見受けられ、新しい風を感じます。

昔ながらの顔と新しい顔、2つの顔が融合し、ますます素敵な街になっていってほしいと願っております。



新年のお慶びを申し上げます。
平成23年のお正月、ご家族お揃いで楽しくお過ごしになられたこと存じます。
さて、私も議会広報編集委員会にとって、昨

年は充実した幸せな年でした。議会だよりが県町村議会広報紙で優勝、全国では準優勝の栄誉に輝きました。

浅川議長の下での議会改革が、議会だよりの評価につながりました。なによりも、広報編集委員会が知恵を出し合い、議論を重ね、町民の皆さまに読んでいただきたい気持ちが一つになって取り組んだことが、約65%の読者率になったり、栄誉の賞につながったことでしょう。

これからもますます精進し、皆さまに読んでいただける議会だよりを作れるように心を新たにしています。
(保坂 明子・記)

- 広報編集委員会
- 委員長 河田あけみ
 - 副委員長 河住 保茂
 - 委員 萩原 馨
 - 野中 敏美
 - 塩澤 保坂
 - 明子 浩

議会を傍聴 しませんか

次回定例会は
3月8日(火)
開会予定です

議会事務局 ☎275-8842
(海野・佐藤)

発行

山梨県昭和町議会

T.409-3880

山梨県中巨摩郡昭和町押越5-42-2 FAX:055-275-5250